

新型コロナ治療に当たっている 医師からのコメント

ワクチンの有効性や効果について

新型コロナ治療の最前線にいる現場の医師にお伺いしました。



竹田晋浩医師

日本 ECMOnet
理事長
かわぐち心臓呼吸
器病院 院長

コロナ感染者の重症化の実態

コロナ発生以来、私は自分の病院も含め日本中の重症患者を治療してきました。そこから分かった事は、人工呼吸やエクモ(※)が必要となる重症患者の多くはワクチンを打っていない人たちだということです。

ワクチンは感染を予防する効果もありますが、もし感染しても重症化を防ぎます。それは、死に至ることを防ぐということです。日本のコロナ重症患者の治療成績はとても良く、死亡者数も少ないです。

しかし人工呼吸やエクモ(※)は、とても大変で苦しさを伴う治療です。

あなたとあなたの大切な人を守るために、ワクチン接種をご検討ください。

※「エクモ」…人工肺とポンプを用いた体外循環による治療



公平誠医師

公平病院 病院長
(埼玉県新型コロナウイルス感染症
重点医療機関)

コロナ後遺症(long Covid)

コロナ禍となり2年が経過しました。その間、コロナ治療薬の登場、ワクチンの接種、ウイルスの株の変化など感染の波ごとに状況が変化してきました。

第6波では重症化は減りましたが、若年層への感染が拡大し、コロナ後遺症で医療機関を受診される方も増えています。

後遺症では倦怠感、呼吸苦、味覚・嗅覚障害など様々な症状が長い期間続くことが多く、日常生活や社会・学校生活に支障をきたすことがあります。

コロナ後遺症へも感染予防が最も重要であり、ワクチン接種は有効な手段の1つです。県内の多くの医療機関でワクチン接種を実施しています。

接種をお考えの方はぜひ利用ください。